

中国人民銀行の外貨リスク準備金に関する政策変更について

中国人民銀行(中央銀行。以下 PBOC)は 2018 年 8 月 3 日付金融機関向け通知(銀発[2018]190号)にて、「中国人民銀行による外貨リスク準備金政策に関する通知」(『中国人民銀行关于调整外汇风险准备金政策的通知』)を交付しました。

1. 通知要旨

- | |
|---|
| <p>① 外貨リスク準備金の対象となる業務範囲</p> <ul style="list-style-type: none">(1) オンショア金融機関が取扱う顧客向け人民元先物売り取引(2) オフショア金融機関が取扱う、(1)と同様な取引に伴うオンショア銀行間外為市場で発生するカバー取引(3) 人民元売買代理行業務における(1)と同様な取引 <p>② 2018年8月6日より、外貨リスク準備金率を20%とする(調整前は0%)</p> |
|---|

2. 所見

- ・ 外貨リスク準備金政策は 2015 年 8 月 31 日付金融機関向け通知(銀発[2015]273号)にて、「人民元売り外貨買い為替予約の慎重なマクロコントロールに関わる通知」(『中国人民銀行关于加强远期售匯宏观审慎管理的通知』)を交付し、金融機関に外貨リスク準備金を課したことから開始されました。
- ・ その後、2017 年 9 月 8 日に金融機関向け通知(銀発[2017]207号)にて、「中国人民銀行による外貨リスク準備金政策に関する通知」(『中国人民銀行关于调整外汇风险准备金政策的通知』)を交付し、外貨リスク準備金率を 0%とし、政策を実質的に撤廃しました。
- ・ 当初政策導入の背景は、2015 年 8 月 11 日の PBOC 基準値改革後、オンショア及びオフショア市場で急速に進行した人民元安期待を抑制することが目的との見方が一般的で、今回の通知も足元の急速な人民元安進行を受けて、改めて人民元安期待を抑制することが目的と推測します。
- ・ 直接的にはお客さまの人民元売り外貨買い為替ヘッジ取引のコストが上昇すると共に、為替政策が緩和方向から再び管理強化方向に転換していくことも想定されます。

以上

作成 : MUFG バンク(中国)有限公司 環球金融市場部 021-6888-1666 ex) 2902~2929

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなされるようお願い致します。当資料は信頼できる情報に基づき作成したのですが、その正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料は使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。尚、当資料の無断複製、複写、転送はご遠慮下さい。当方の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。